

聖なる油を受け取る式

- 1 聖香油のミサで司教によって聖別された香油、ならびに祝福された洗礼志願者の油と病者の油を受け取る式を小教区で行い、これらの油を信者に示してその役割を伝えることができる。
- 2 以下の式は、聖木曜日の主の晩さんの夕べのミサの開祭の中で行う場合を想定している。主の晩さんの夕べのミサが始まる前に、司祭、または助祭か信徒の代表が、以下の6のことばを参考にして、聖なる油を受け取ったことを会衆に報告することもできる。
- 3 聖香油のミサに近い他の日（たとえば復活の主日）に行う場合は、開祭の中で行うほかに閉祭のお知らせのときに行うこともできる。その場合は以下の式をふさわしく適応させる。
- 4 ふさわしい品位のある容器に入ったそれぞれの油を、入堂行列のときに運ぶことができる。行列は、香炉係、十字架を運ぶ祭壇奉仕者もしくは他の奉仕者（火をともしたろうそくを運ぶ奉仕者が伴う）、油を運ぶ奉仕者、朗読福音書を運ぶ助祭もしくは他の奉仕者、助祭、共同司式司祭、主司式司祭の順に進む。
- 5 行列が祭壇の前に着くと、油を運ぶ奉仕者は、油が会衆から見える位置に立つ。司祭と助祭、そして他の奉仕者は通常どおり内陣に入り、司祭と助祭は祭壇に表敬してから席に向かう。
- 6 主司式司祭は通常どおり会衆にあいさつしてから、会衆に向かってたとえば次のようなことばで聖なる油について述べる。

皆さん、この主の晩さんの夕べのミサから、聖なる過越の三日間が始まります。この三日間を通して、キリストの受難と死と復活を記念し、心一つにして祈りましょう。今日の午前中（または、聖香油のミサを行った日付）、司教座聖堂で、○○○○司教様は、司祭団（と助祭）と集まった

会衆とともに聖香油のミサをささげ、その中で、香油が聖別され、洗礼志願者と病者のための油が祝福されました。今晚（または 今日）、わたしたちが受け取るこれらの油は、洗礼式や堅信式、洗礼志願式、病者の塗油の秘跡などの中で用いられ、主キリストがわたしたちとともにいてくださることのしるしとなるのです。

7 続いて、油の容器を運ぶ奉仕者が主司式司祭のもとに向かう。各奉仕者は主司式司祭の前に立つ。初めに病者の油を運ぶ奉仕者が油を高く掲げて言う。

これは祝福された病者の油です。

主司式司祭は手を合わせて次のように言う。

この油を塗られるすべての人が、神の愛といつくしみに力づけられ、からだと心の健康を取り戻し、すべての病気と苦しみから解放されますように。

会衆は答える。

神に感謝。

続いて、洗礼志願者の油を運ぶ奉仕者が油を高く掲げて言う。

これは祝福された洗礼志願者のための油です。

主司式司祭は手を合わせて次のように言う。

この油を塗られるすべての洗礼志願者が、救い主であるキリストの力によって強められ、悪を退け、洗礼に向けてふさわしい準備を進めることができますように。

会衆は答える。

神に感謝

続いて、聖香油を運ぶ奉仕者が油を高く掲げて言う。

これは聖別された香油です。

主司式司祭は手を合わせて次のように言う。

この聖なる油は、洗礼と堅信の秘跡を受ける人々、叙階の秘跡を受ける司教と司祭に塗られます。また、奉献される新しい教会堂と祭壇にも塗られます。聖香油の塗油を通して、聖霊のたまものが豊かに与えられますように。

会衆は答える。

神に感謝。

- 8 油の奉仕者は油の容器を内陣に用意された台の上に置く。
- 9 主の晩さんの夕べのミサや主日のミサの場合、回心からミサを続ける。
- 10 聖なる油を保管する専用の場所が聖堂にない場合、香部屋などふさわしい場所に油を保管する。古くなった油は脱脂綿などに含ませて燃やすことが望ましい。